

---

# 第 12 回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会 資料

---

平成24年 7月17日

# 委員会資料の構成

## 第1、2回 委員会(H17.11実施/H18.1.12実施)

- ・神奈川県交通・地域特性の把握
- ・要対策箇所抽出方法

道路利用者へアンケート調査実施

## 第3回 委員会(H18.3.29実施)

- ・アンケート調査結果の分析
- ・要対策箇所の確定(13地区34箇所)

## 第4、5回 委員会(H18.9.26実施/H19.3.28実施)

- ・対策の実施状況、整備効果の事例紹介
- ・個別カルテによる渋滞状況・対策の整理

## 第6、7回 委員会(H20.3.12実施/H21.3.25実施)

- ・要対策箇所の事業進捗状況
- ・広報活動状況、渋滞対策の新しい取組みについて

## 第8回 委員会(H22.3.2実施)

- ・要対策箇所の事業進捗状況、要対策候補箇所の選定(案)
- ・パブリックコメントの実施(案)
- ・地域が一体となった渋滞対策への取組み

道路利用者へパブリックコメント実施

## 第9回 委員会(H23.2.28実施)

- ・要対策箇所の対策実施状況のフォローアップ
- ・パブリックコメント結果、新たな要対策箇所の選定

## 第10回 委員会(H23.10.20実施)

- ・要対策箇所の進捗状況、今後の取り扱い
- ・その他の混雑指摘箇所のスクリーニング方法

## 第11回 委員会(H24.2.9実施)

- ・要対策箇所の進捗状況および対策完了箇所の効果検証
- ・要対策候補箇所の評価結果
- ・その他の混雑指摘箇所のスクリーニング途中経過

## 今回委員会の審議内容

### 議題1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

- ・今後の渋滞対策の推進について
- ・関東地整における渋滞対策検討について
- ・今後のスケジュールについて
- ・大都市圏の渋滞状況
- ・高速道路の課題箇所特定の見え方(案)
- ・一般道の課題箇所特定の見え方(案)
- ・一般道の課題箇所特定フロー(素案)

### 議題2. 今後の検討方針(案)について

- ・これまでの神奈川県移動性向上委員会における検討の流れ
- ・要対策箇所、対策候補箇所一覧
- ・要対策箇所や要対策候補箇所と新たな渋滞対策検討により選定される箇所(素案)との関係
- ・設定指標の比較

## 【議題1】

# 「首都圏における新たな渋滞対策検討 について」

- 1-1. 今後の渋滞対策の推進について
- 1-2. 関東地整における渋滞対策検討について
- 1-3. 今後のスケジュールについて
- 1-4. 大都市圏の渋滞状況
- 1-5. 高速道路の課題箇所特定の考え方(案)
- 1-6. 一般道の課題箇所特定の考え方(案)
- 1-7. 一般道の課題箇所特定フロー(素案)

# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-1. 今後の渋滞対策の推進について

### 高速道路のあり方検討有識者委員会

「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」  
において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと

### 社会資本整備審議会 道路分科会

社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化  
が議論されていること

### 交通観測技術の発展・普及

交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるな  
ど、観測環境に大きな改善が見られること

**全国的に効果的な渋滞対策を推進**

# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-1. 今後の渋滞対策の推進について

### 検討の体制等

#### 3大都市圏

(首都圏・中京圏・京阪神圏)

※渋滞の面的な連担が顕著な3大都市圏では  
圏域単位で検討の場を設置

#### 3大都市圏以外の地域

#### 【圏域単位】

- 首都圏 渋滞ボトルネック対策協議会
- 中京圏 渋滞ボトルネック対策協議会
- 京阪神圏 渋滞ボトルネック対策協議会

・地方整備局 ・地方運輸局  
・公安委員会  
・地方公共団体(県・政令市)  
・高速道路会社  
(NEXCO・首都高速・阪神高速・  
本四高速・指定都市高速 等)等

#### 【都道府県単位】

- 渋滞対策協議会

・地方整備局等 ・地方運輸局  
・公安委員会  
・地方公共団体(県・政令市)  
・高速道路会社  
(NEXCO・首都高速・阪神高速・  
本四高速・指定都市高速 等)等

# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-2. 関東地域における渋滞対策検討について

### 【検討の背景】

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

### 関東地域における検討体制等

首都圏  
(東京、**神奈川**、千葉、埼玉)

#### 【圏域単位】

- 首都圏渋滞ボトルネック対策協議会  
(小仏トンネル等の検討から山梨県も参加)

#### 【都県単位】

- ・(仮称)東京都移動性向上委員会
- ・**神奈川県移動性向上委員会**
- ・千葉県移動性向上プロジェクト委員会
- ・埼玉県移動性向上委員会

首都圏以外の地域  
(群馬、山梨、長野、栃木、茨城)

#### 【県単位】

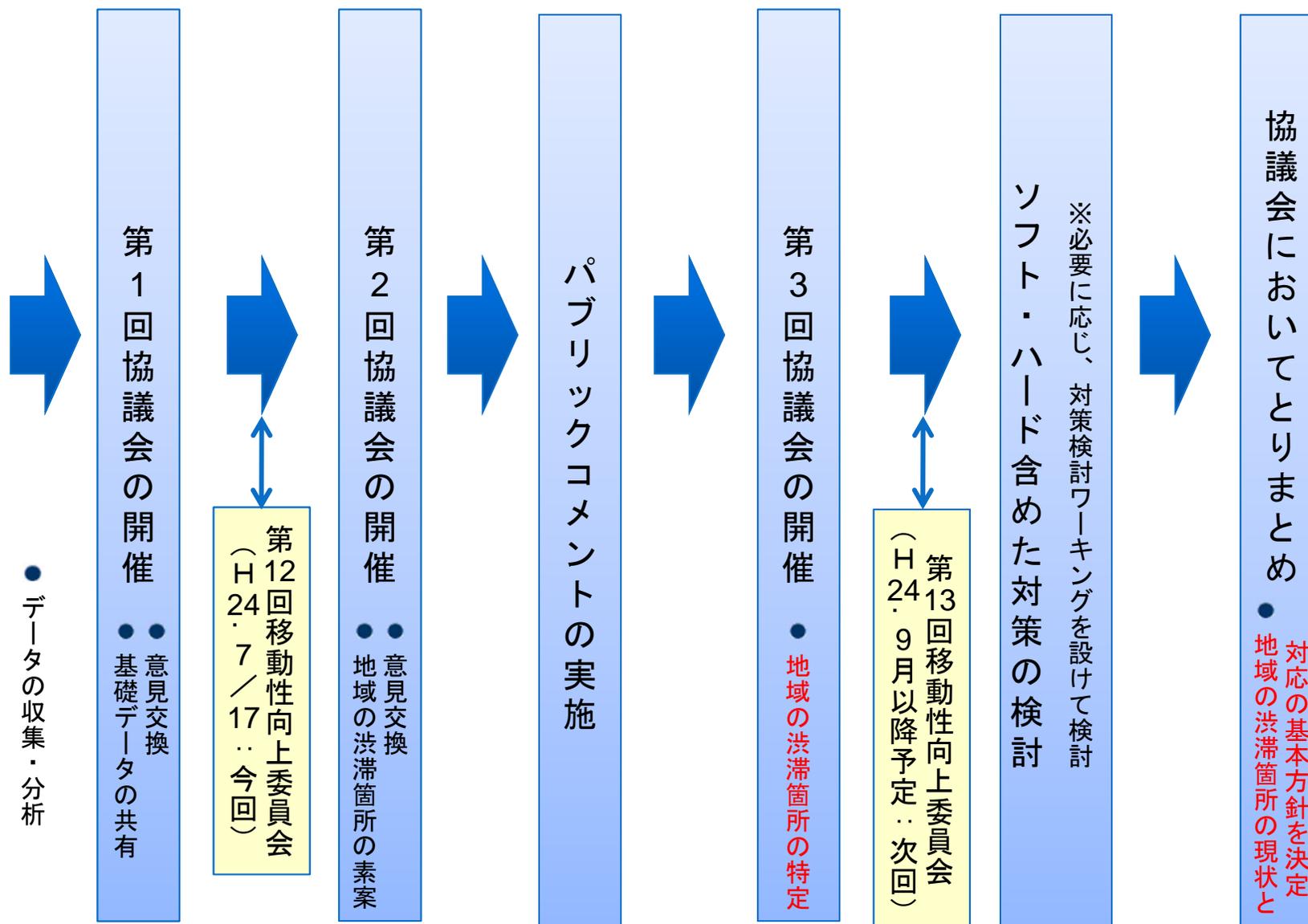
- 渋滞対策協議会
  - ・群馬県域移動性・安全性向上検討委員会
  - ・山梨県道路交通円滑化・安全委員会
  - ・長野県移動性・安全性向上検討委員会
  - ・道路行政マネジメントを実践する栃木県会議
  - ・茨城県移動性・安全性向上委員会

### 【検討対象】

高速道路、一般道路を含めた幹線道路ネットワーク全般を対象に、サービスレベルや渋滞等の課題の状況と対応の方向性を検討

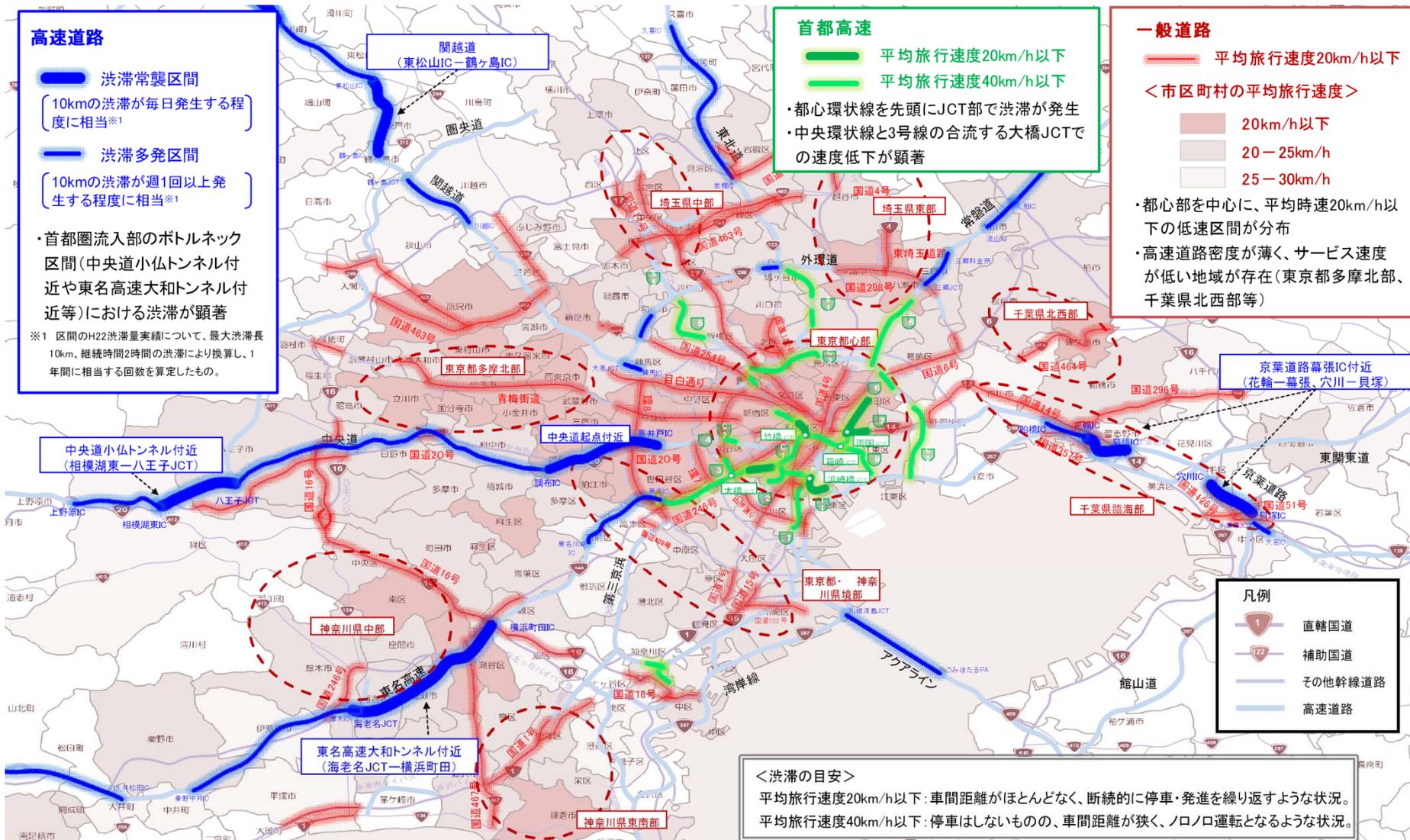
# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-3. 今後のスケジュールについて



# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-4. 大都市圏の渋滞状況



# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-5. 高速道路の課題箇所特定の方(案)

渋滞の課題の大きさを表すデータで評価

(例)

区間の損失時間

自由に走行できる状態を基準として、混雑などの遅れで自動車利用者が損失している時間の区間合計

ボトルネックが惹起する渋滞量

ボトルネック箇所が惹起した実績の渋滞量(渋滞の長さ×渋滞時間を乗じたもの)を集計

平均旅行速度

昼間12時間の平均の旅行速度

5%タイル速度

速度の低い方から順番に並べて、5%番目の速度

地域の実感の反映

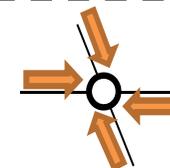
主要渋滞箇所の候補

# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-6. 一般道の課題箇所特定の考え方(案)

### 交差点損失時間:

交差点に流入する区間で生じている損失時間（自由に走行できる状態からの遅れで、利用者が損失している時間）の合計



渋滞の課題の大きさを**交差点損失時間**で評価

昼間12時間

ピーク時間帯

しきい値の例

80万人時間/年相当

(混雑時の流入が20km/h以下に相当)

地域の課題を反映するデータによる補完

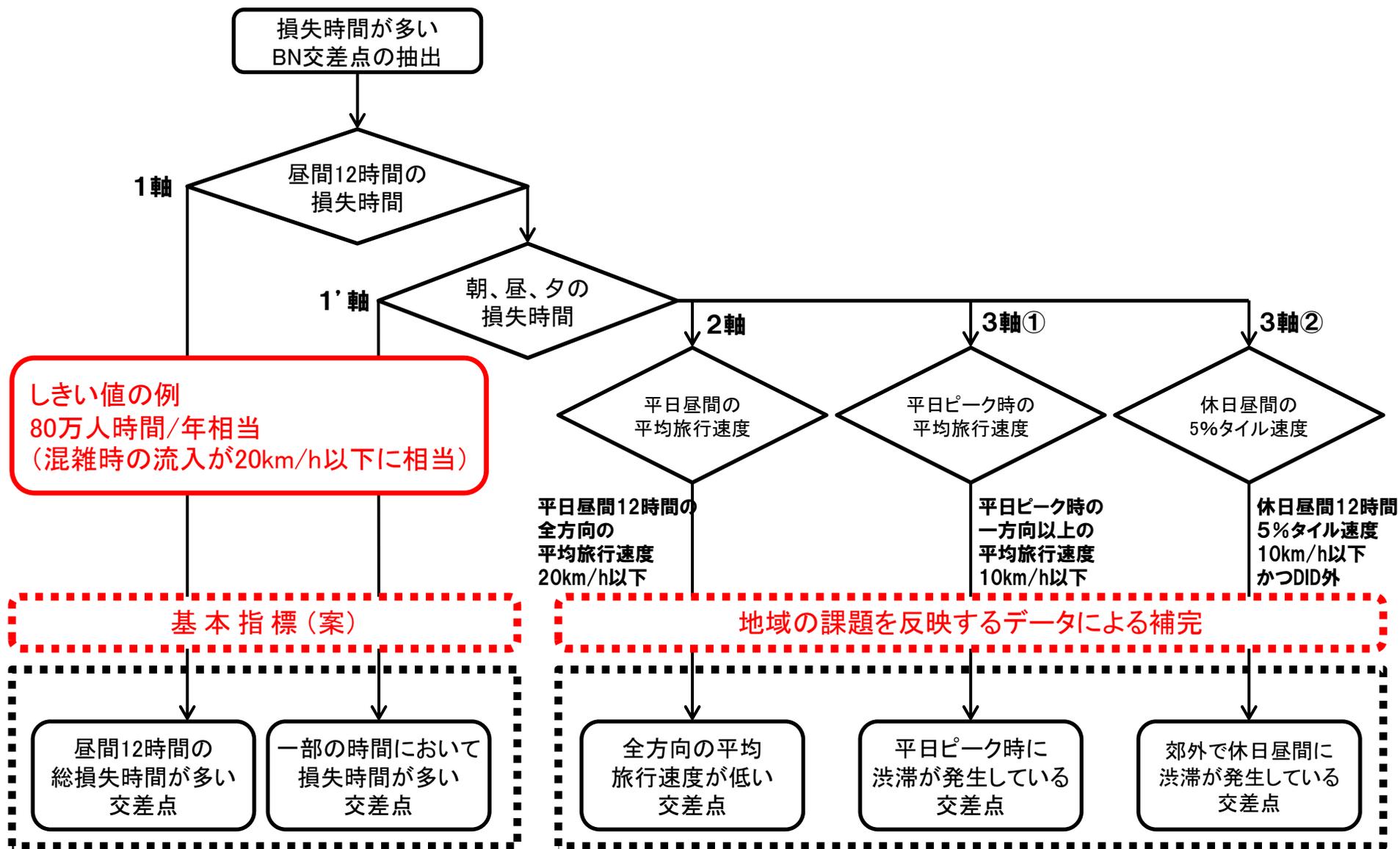
- 平均旅行速度
- 観光地等の休日特性
- 大規模商業施設や踏切の影響 等

地域の実感の反映

主要渋滞箇所の候補

# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## 1-7. 交通データを活用した渋滞ポイントの抽出フロー(素案)



# 1. 首都圏における新たな渋滞対策検討について

## ご意見を頂きたい事項

- ◆首都圏渋滞ボトルネック協議会の指標で、神奈川県において選定される箇所(素案)(以下、ボトルネック箇所(案))について、実感と合っているか。

※平成22年度以降に対策事業が完了している箇所は除外

- ◆ボトルネック箇所(案)についての道路管理者(神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市)の意見への対応については以下の通りとしたい。

## 対応案

- 各道路管理者から意見のあった箇所で、ボトルネック箇所(案)で選定されない箇所については、神奈川県移動性向上委員会にて取り扱いを検討

理由:ボトルネック箇所(案)の選定は、客観的なデータに基づく指標により行っているが、上記箇所は、アンケート結果やデータの不足など、客観的なデータで示されない可能性があるため。

## 【議題2】

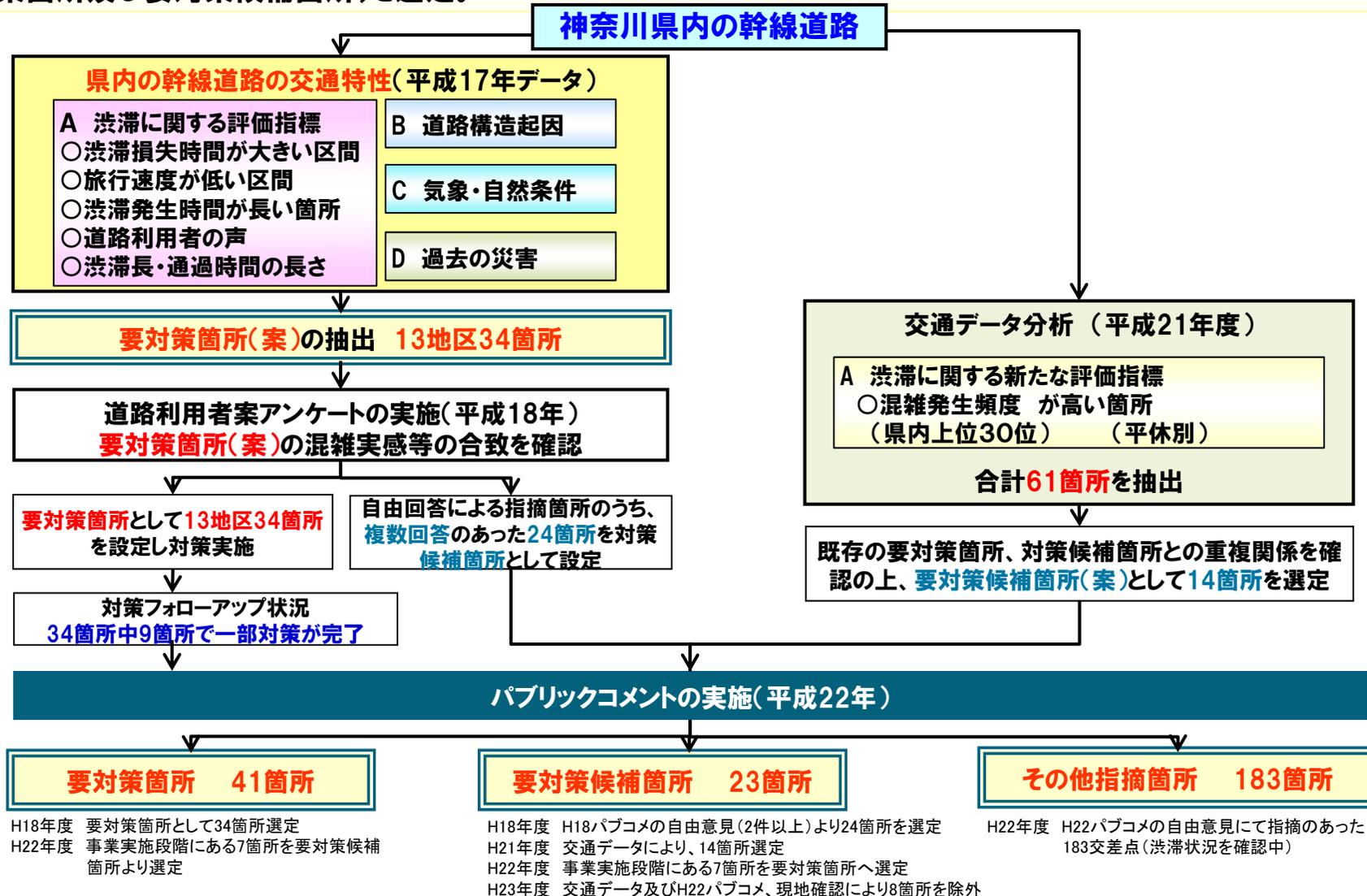
# 今後の検討方針(案)について

- 2-1. これまでの神奈川県移動性向上委員会における検討の流れ
- 2-2. 要対策箇所、対策候補箇所一覧
- 2-3. 要対策箇所や要対策候補箇所と  
新たな渋滞対策検討により選定される箇所(素案)との関係
- 2-4. 設定指標の比較

## 2. 今後の検討方針(案)について

### 2-1. これまでの神奈川県移動性向上委員会における検討の流れ

神奈川県内の道路について、交通データと道路利用者の実感や意見を踏まえ、移動性が阻害されている箇所(要対策箇所及び要対策候補箇所)を選定。



# 2. 今後の検討方針(案)について

## 2-2. 要対策箇所、対策候補箇所一覧

### ● 要対策箇所一覧

No	路線名	箇所名	No	路線名	箇所名
45	R1	多摩川大橋～下末吉交差点	48	R246	会田交差点～文化会館入口交差点
46	R1	浜松町交差点	49	R129	国道246号交点～船子北谷交差点
47	R15	大黒町入口交差点	50	県道	相模大橋東交差点
48	R15	堂町交差点	51	県道	安部交差点
49	県道	綱島交差点	52	R1	窪ノ下交差点
50	県道	大豆戸交差点	53	R135	石橋IC(西湘BP)～早川口交差点
51	県道	京急大師橋踏切付近	54	R255	飯島入口交差点
52	県道	浅間下交差点～回野交差点	55	R20	与瀬～吉野(通行止規制区間)
53	R1	保土ヶ谷橋交差点	56	R20	藤野町中心部(吉野～小淵)
54	R1	不動坂交差点	57	R467	光ヶ丘交差点
55	R16	青砥交差点～杉田交差点	58	R467	桜ヶ丘交差点
56	R16	吉倉町～追浜町	59	県道	用田交差点
57	県道	衣笠十字路交差点	60	R246	向原
58	R1	原宿交差点	61	R1	JR戸塚駅
59	R1	工業団地入口交差点	62	県道	川崎市麻生区内
60	R246	新石川～江田駅東～市ヶ尾交差点	63	R409	鷺崎前交差点
61	R246	市役所入口交差点～桜坂交差点	64	R134	唐ヶ原交差点～層の松交差点
62	R409	京急大師橋踏切付近	65	R16	上川井前角辺
63	R16	梅の木交差点	66	R129	戸田交差点
64	R16	東名横浜町田IC付近	67	R16	榎本小学校入口交差点
65	R16	鶴巻森交差点～若松2丁目交差点			

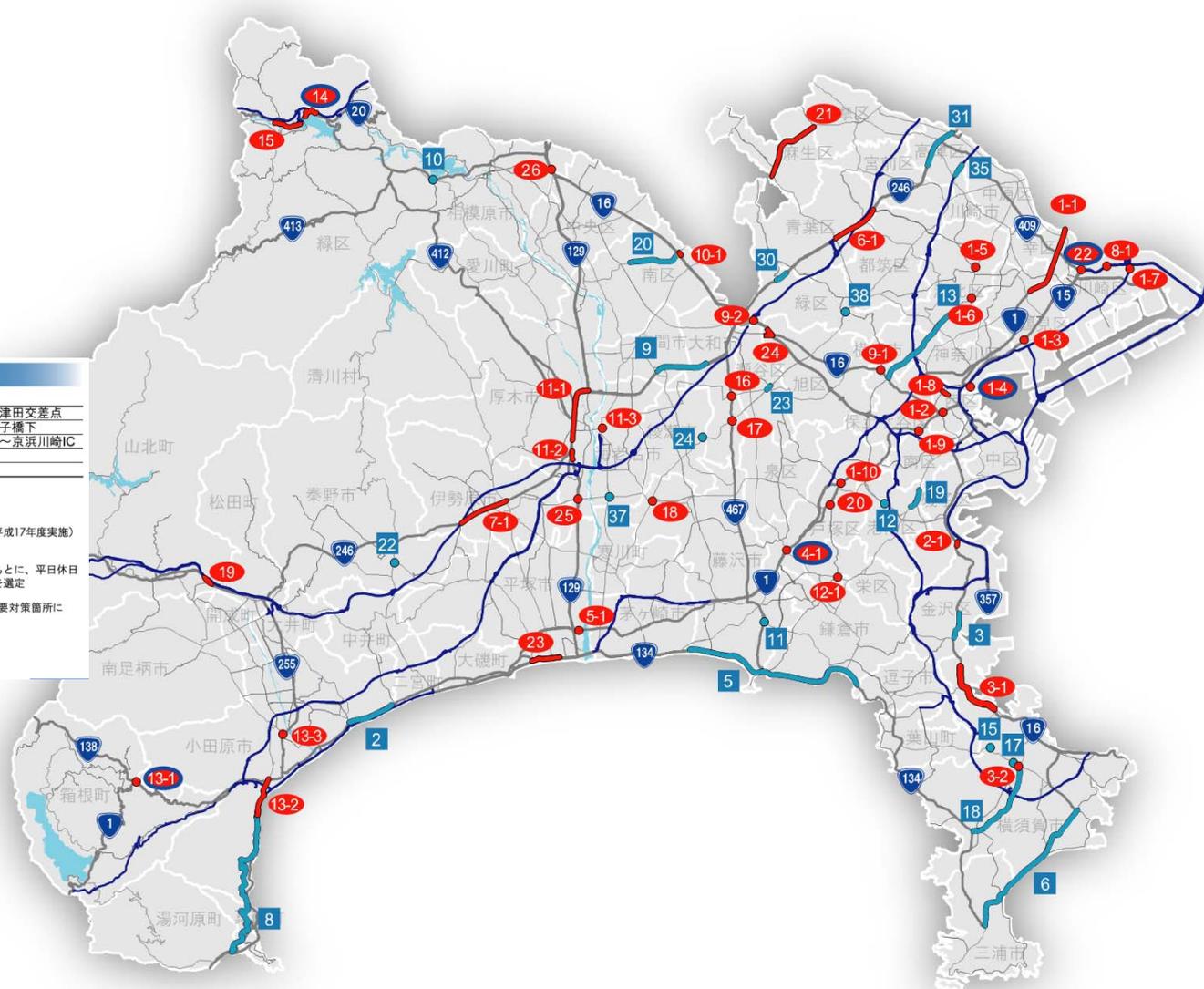
### ■ 効果検証箇所

20 26 第9回委員会(H23.2.28)において  
候補箇所から要対策箇所に格上げしたもの

### ● 要対策候補箇所一覧

No	路線名	箇所名	No	路線名	箇所名
2	R1	小八幡3丁目～西湘バイパス橋IC	30	R246	御前田交差点～下長津田交差点
3	R16	君ヶ崎交差点～六浦交差点	31	R246	梶ヶ谷交差点～新二子橋下
4	R134	鎌倉～藤沢間	32	市道	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC
5	R134	引橋交差点～夫婦橋交差点	37	県道	東河内交差点
6	R135	石橋IC～県境	38	県道	宮の下交差点
7	R246	座間市栗原陸橋～大和トンネル間			
8	R413	日赤病院前交差点			
9	R467	南藤沢交差点			
10	環状2号	上永谷付近			
11	環状2号	新横浜駅～国道16号交点			
12	県道	池上十字路交差点			
13	県道	JR衣笠駅前			
14	県道	横須賀市衣笠～騎塚間			
15	県道	上大岡駅前～港南警察署			
16	県道	北里大病院～国道16号交点			
17	県道	河原町交差点			
18	県道	南台交差点～ニッポン橋交差点			
19	県道	厚木基地南門前交差点			
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					

< 要対策候補箇所の選定方法 >  
 2～24 前回の道路利用者アンケート(平成17年度実施)結果から選定  
 25～38 最新の交通データの分析結果をもとに、平日休日のいずれかで混雑が著しい箇所を選定  
 ※ 欠番は第9回委員会(H23.2.28)で要対策箇所に格上げしたもの



## 2. 今後の検討方針(案)について

### 2-3. 要対策箇所や要対策候補箇所と新たな渋滞対策検討により選定された箇所(素案)との関係

#### ●これまでの箇所と新たな選定箇所(素案)の整合

		新たな渋滞対策検討	
		1軸～3②軸 に一致 (152箇所)	1軸～3②軸 に不一致
神奈川県 移動性向上委員会	要対策箇所 41箇所	25箇所 (34箇所)	16箇所
	要対策候補箇所 23箇所	9箇所 (11箇所)	14箇所
	計	34箇所 (45箇所)	30箇所

※( )は新たな渋滞対策検討での該当箇所数  
 なお、新たな渋滞選定箇所(素案)(152箇所)のうち  
 107箇所は要対策・要対策候補箇所に該当しない。

#### ●要対策箇所や要対策候補箇所の中で、新たな選定箇所(素案)不整合箇所

番号	箇所・区間名	路線名	交差点名	市町村	阻害要因	
1-3	大黒町入口交差点	国道15号	大黒町入口交差点	横浜市鶴見区	渋滞	※1
1-4	栄町交差点	国道15号	栄町交差点	横浜市神奈川区	道路構造	※1
1-10	不動坂交差点	国道1号	不動坂交差点	横浜市戸塚区	渋滞	※1
4-1	原宿交差点	国道1号	原宿交差点	横浜市戸塚区	渋滞	※1
8-1	京急大師線踏切付近	国道409号	大師河原交差点	川崎市川崎区	渋滞	※1
9-1	梅の木交差点	国道16号	梅の木交差点	横浜市保土ヶ谷区	渋滞	※1
9-2	東名横浜町田IC付近	国道16号	横浜町田インター出入口	町田市・横浜市緑区	渋滞	※1
12-1	笠間交差点	環状4号	笠間交差点	横浜市栄区	渋滞	※1
13-1	宮の下交差点	国道1号	宮の下交差点	箱根町	渋滞	※1
13-2	石橋IC(西湘BP)～早川口交差点	国道135号	早川口交差点	小田原市		※1
			早川駅前交差点	小田原市	渋滞	※1
			新早川橋交差点	小田原市		※1
14	与瀬～吉野(通行止規制区)	国道20号	相模湖インター入口	相模原市緑区	自然災害	※1
15	藤野町中心部(吉野～小)	国道20号	吉野交差点	相模原市緑区	道路構造	※1
19	向原	国道246号	-	開成町	道路構造	※1
22	競馬場前交差点	国道409号	競馬場前交差点	川崎市川崎区川崎区	渋滞	※1
25	戸田交差点	国道129号	戸田交差点	厚木市	渋滞	※1
26	橋本小学校入口交差点	国道16号	-	相模原市緑区	渋滞	※1

要対策候補箇所	2	小八幡3丁目～西湘バイパス橋IC	国道1号	親木橋	小田原市	-	※2
				岡入口	小田原市	-	※2
				橋インター入口	小田原市	-	※2
	3	君ヶ崎交差点～六浦交差点	国道16号	六浦	横浜市金沢区	-	※2
				瀬戸	横浜市金沢区	-	※2
				瀬戸神社前	横浜市金沢区	-	※2
				三浦海岸	三浦市	-	※2
	6	引橋交差点～夫婦橋交差点	国道135号	野比	横須賀市	-	※2
				野比駅入口	横須賀市	-	※2
				大作	横須賀市	-	※2
				長沢駅入口	横須賀市	-	※2
				野比中学前	横須賀市	-	※2
	8	石橋IC～県境	国道134号	千歳橋	湯河原町	-	※2
	10	日赤病院前交差点	国道413号	日赤前	相模原市緑区	-	※2
	12	上永谷付近	環状2号	上永谷入口	横浜市港南区	-	※2
	15	池上十字路交差点	横須賀葉山線	池上十字路	横須賀市	-	※2
	17	JR衣笠駅前	横須賀葉山線	JR衣笠駅前	横須賀市	-	※2
19	上大岡駅前～港南警察署	横須賀鎌倉線	関ノ下	横浜市港南区	-	※2	
22	河原町交差点	栗野二宮線(県道71号)	河原町	秦野市	-	※2	
24	厚木基地南門前交差点	丸子中山茅ヶ崎線	瀬瀬大橋入口	綾瀬市	-	※2	
30	御前田交差点～下長津田交差点	国道246号	下長津田	横浜市緑区	-	※3	
			御前田	横浜市緑区	-	※3	
35	第三京浜入口交差点～京浜川崎IC	第三京浜道路	第三京浜入口	川崎市高津区	-	※3	
			京浜川崎IC	川崎市高津区	-	※3	
37	東河内交差点	横浜伊勢原道路	東河内	海老名市	-	※3	

※1 県内の幹線道路の交通特性(H17)より抽出

※2 県内の幹線道路の交通特性(H17)及び道路利用者アンケート(H18)による抽出

※3 交通データ分析(H21)データより抽出

=効果検証箇所

## 2. 今後の検討方針(案)について

### 2-4. 設定指標の比較

従来の移動性向上委員会での選定指標と首都圏ボトルネック協議会での選定指標(素案)は異なっているため、選定箇所の取り扱い等については、今後検討が必要。

#### 《従来の移動性向上委員会での選定指標》

##### A. 渋滞に関する評価指標

- 渋滞損失時間が大きい区間  
【指標】 渋滞損失時間450人時/km/日以上
- 旅行速度が低い区間  
【指標】 旅行速度10km/h未満
- 渋滞発生時間が長い箇所  
【指標】 渋滞がひどいとの意見があった地点
- 渋滞長・通過時間の長さ  
【指標】 DID内:最大渋滞長500m以上or最大通過時間5分以上  
DID外:最大渋滞長1000m以上or最大通過時間10分以上
- 混雑発生頻度が高い箇所  
【指標】 平休のいずれかが混雑発生時間上位30位以内
- 道路利用者の声  
【指標】 住民・利用者の感じる交通阻害感の指摘箇所

##### B. 道路構造起因

- 【指標】 道路管理者による抽出(屈曲部、曲線部に交差点が存在、車線数の増減が複雑等)

##### C. 気象・自然条件

- 【指標】 事前通行規制区間の内、通行止が平均1回/年以上発生、かつ交通量が14000台/日以上(H14-H16)

##### D. 過去の災害

- 【指標】 災害による通行止(H14-H16) ※実績なし

#### 《首都圏ボトルネック協議会での選定指標(素案)》

##### 基本指標(案)(交差点損失時間)

- 【1 軸】 損失時間80万人時間/年以上  
の交差点
- 【1' 軸】 ピーク時損失時間182.6人時間/時以上  
の交差点

##### 地域の課題を反映するデータによる補間

- 【2 軸】 平日昼間12時間の全方向の旅行速度の平均が20km/h以下となる交差点  
【損失時間各県の上位100位以内】
- 【3軸①】 平日ピーク時の1方向以上の平均速度10km/h以下  
[損失時間20万人時間/年以上]
- 【3軸②】 休日昼間12時間5%以下旅行速度10km/h以下でDID外  
[損失時間20万人時間/年以上]

## 2. 今後の検討方針(案)について

### ご意見を頂きたい事項

- ◆要対策箇所及び要対策候補箇所については、ボトルネック箇所(案)との整合も踏まえ、今後検討が必要

### 今後の検討方針(案)

- 要対策箇所・要対策候補箇所は、ボトルネック箇所(案)に該当しない箇所も含め、今後も神奈川県移動性向上委員会にて、フォローアップを実施することとするが、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会の指標との整合性は確認。  
※必要に応じて取り扱いについて検討。
- 要対策箇所・要対策候補箇所に該当しないボトルネック箇所(案)については、今後、これまでの検討も踏まえ神奈川県移動性向上委員会での位置づけ(例えば、要対策候補箇所としての位置づけ)を検討。
- 上記の検討結果も踏まえ、必要に応じて要対策箇所及び要対策候補箇所の選定方法等の見直しも検討。